

【団体の概要】

事業名： ヤイロチョウのさえずる森を未来に！写真・動画・作文コンクール
 団体名： 公益社団法人生態系トラスト協会

【活動の概要】

2021年10月10日(日)～2022年1月29日(土)の4日間、こうち山の日推進事業費の助成金をいただき、『3回の学習会』も兼ねて「写真・動画・作文コンクール」が開催された。
 以前の計画では、締め切りや審査日の設定が早すぎたこともあり学習会の参加や作品の応募が少なく、日程の追加と募集期間の延長をするために再度、四万十町内の幼・保育園・小・中・高校、高知市内の小学校、当協会の会員等に案内を出した。
 10/10(日)、1日目の午前中は、高知市立わんぱくこうちアニマルランド学芸員の吉川貴臣講師による『学習会』を行い、午後からは現地に集合した参加者を中村滝男講師がガイドした。
 この日の午前中のイベントの様子は、YouTubeに後日配信した。
 10/24(日)、2日目、12/26(日)の3日目の両日の午前中は、中村滝男講師により学習会がネイチャーセンターで行われ、午後の部のヤイロチョウの森のガイドツアーも中村滝男講師により執り行われた。
 R4.1/16には協会の理事らによりそれぞれの賞が審査され、4日目、最終日のR4.1/29(土)に、『コンクール発表イベント』をYouTubeで生配信した。(コロナ感染拡大のため、授賞式は中止)
 高知県内外の56名から、計68点が寄せられ、ぬりえ部門(優秀賞1点、入選1点、佳作7点)、絵画部門(優秀賞1点、入選5点、佳作3点)、作文部門(優秀賞1点、入選1点、佳作7点)の受賞者を発表し、副賞(※個人寄付による)として図書券等を送った。
 イベントの最後には、サンドイッチパーラーによるヤイロチョウの歌、「リラルラ」を演奏していただき、イベントを締めくくった。
 会場にはスタッフや関係者、観客も含め、12名が同席した。

【プログラム】

実施年月日： 令和3年10月10日(日)			
場 所： 四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンター&下道のウォーキングトレイル 等			
日 程：			
<1日目> 午前「ヤイロチョウの森についての学習会」 9時30分にネイチャーセンター集合後、60分間ヤイロチョウの森や生き物について説明、講師、吉川貴臣さんが自己紹介をしたのちレクチャー開始。親子1組(子ども2名、大人1名) 午後「ヤイロチョウの森でガイドツアー」 13時～14時30分 中村滝男講師が、現地で集合の親子2組にヤイロチョウの森の動植物について解説しながら下道のウォーキングトレイルを案内した。親子2組(子ども3名、大人2名) 詳しくは当協会のホームページのYOU TUBEチャンネルより、当日の学習会の様子が閲覧できる。			
募集地区： 高知県はもとより、全国区		募集対象： 高知県を中心にした親子	
募集方法： 高知市、四万十町の小学校、通信に力を入れている学校を中心に配布、その他は、当協会の会員にもチラシを郵送した。 関係者にもSNS(当協会のフェイスブック、ホームページ、イベント情報、ライン)などで告知し、周知を計った。		参加費等： 無料	
参加人数： 大人 3名		子供 5名	
スタッフ 2名		外部講師 1名	

実施年月日： 令和3年10月24日(日)			
場 所： 四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンター&下道のウォーキングトレイル 等			
日 程：			
10/21までに参加申込がなかったため日程の変更を行ったが、直前で申し込みがあったため敢行した。 <2日目> 午前10月24日(日)、「ヤイロチョウの森についての学習会」 9時30分にネイチャーセンター集合後、60分間ヤイロチョウの森や生き物について説明、講師、中村滝男がレクチャーを担当した。親子1組(子ども1名、大人2名) 午後「ヤイロチョウの森でガイドツアー」 13時～14時30分中村滝男講師が、センターで学習を終えた後、国道435号線に沿って下道までの動植物について車を降りながら、ガイドを行った。親子1組(子ども1名、大人2名)			
募集方法： 同上		参加費等： 無料	
参加人数： 大人 4名		子供 2名	
スタッフ 2名		外部講師 0名	

実施年月日： 令和3年12月26日(日)			
場 所： 四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンター&下道のウオーキングトレイル 等			
日 程：			
<3日目> 午前「ヤイロチョウの森についての学習会」 10時にネイチャーセンターに親子1組が参加。ネイチャーセンターでDVDを見たり、ヤイロチョウのレクチャーを受けながら、サンジャクについても中村滝男講師によりレクチャーを受けた。参加するために訪れたのだが、黒潮町で捕獲されたサンジャクの運搬とセンターのゲージに移すのを手伝っていただいた。親子1組(子ども1名、大人1名) 午後「ヤイロチョウの森でガイドツアー」 13時～14時30分中村滝男講師が、ネイチャーセンターから参加者とともに現地へ向かい、下道地区のヤイロチョウの声が聞こえる集落を案内し、センターへ帰って来てから感想など書いていただいた。親子1組(子ども1名、大人1名)他、飛び入りでの参加の大人2名			
募集地区： 高知県はもとより、全国区		募集対象： 高知県を中心にした親子	
募集方法： 同上		参加費等： 無料	
参加人数： 大人 4名		子供 2名	
スタッフ 2名		外部講師 0名	

実施年月日： 令和4年1月29日(土)					
場 所： 四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンター					
日 程：					
＜4日目＞ 発表イベント					
10時30分ごろから、サンドイッチパーラーさんに、YOU TUBEに録画放送するため等の準備にボランティアでお出で이었다。 司会は地元でゲストハウスを営んでいる小野さんに依頼。 13時から中村会長のあいさつに続いてぬりえ、絵画、作文部門についてそれぞれ優秀、入選、佳作の発表が行われた。 終わりにサンドイッチパーラーさんの歌の発表があり、15時記念イベントを終了した。 マスコミからは、高知新聞、四万十ケーブルテレビに取材に来ていただいた。観客大人2名					
募集地区：		高知県はもとより、全国区	募集対象：	高知県を中心にした親子	
募集方法：		同上	参加費等：	無料	
参加人数： 大人		2名	子供	2名	
スタッフ		8名	外部講師	0名	
○マスコミ等での紹介例(あれば)					
四万十町のケーブルテレビ・高知新聞(1/31掲載)					

○感想 まとめ			
<参加者> 講師からヤイロチョウについて知らなかったことを学習できて良かった。 生き物の好きな子どもたちとヤイロチョウが生息する森を案内していただき良かった。			
<スタッフ> 事業実施期間内に応募を締切、審査、表彰等の日程を逆算しても変更可能な最終日程が12/26でした。対象者や応募のジャンルの幅を広げ、出来る限り参加者募集・作品募集に努めましたが学習会の参加が思うほど見込めませんでした。 しかし、コンクールに応募するために、実際の場での学習会(ネイチャーセンター、森でのガイド)を開き、それに呼応する形でコンクールに出品していただいた方もおられたので、収穫があって良かったと思っています。またYouTubeを見て学習したり、独自に調べて応募された方もいて本事業が森林環境学習のきっかけになっているので参加者数+αだと思っています。 ぬりえは、思ったより応募数が多く、今後ヤイロチョウの普及啓発にはぬりえを大いに活用できるということもわかりました。今後、応募をたくさんしていただくために、ぬりえをデザインできる方や普及啓発品を探したいと思いました。			